

インバウンド向け飲食・体験代理予約AIの開発

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・箱根エリアではインバウンドの旅行者数も近年増加傾向であり、それに伴い宿外での夕食需要が高まっている。
- ・一方で、宿による事前の飲食店情報の発信不足や、予約システムの整備不足が原因となり、夕食難民やコンビニ等で済ませてしまうインバウンド旅行者が増加している。
- ・本事業では、夕食やアクティビティのAIレコメンドと予約のワンストップ化に取り組むことで、旅行者の満足度向上と地域内消費の拡大を図る。また、得られたデータを地域内飲食店や事業者へ展開し、メニュー開発、営業日、シフトの検討等に活用することで、地域全体の観光価値向上を目指す。

事業概要

本事業では、箱根エリアにおいて、インバウンド旅行者向けに生成AIを活用した飲食店やアクティビティのレコメンドや代理予約機能を提供する。多言語対応していない予約サイトにおいても、生成AIが多言語対応チャットボットを通じて施設のレコメンドを行い、代理で予約することで、旅行者の利便性向上を図る。これにより、地域内の飲食店、アクティビティ利用者数の拡大を図るとともに、得られたデータを事業者に展開し、サービス改善やインバウンド対応強化に活用する。

取組地域：神奈川県足柄下郡箱根町

コンソーシアム名：箱根温泉生成AI推進コンソーシアム

代表事業者：一般財団法人箱根町観光協会

実証内容

1. ホテル予約完了メールに飲食店やアクティビティの予約システムへのリンクを設置し予約の導線確立
2. 多言語対応チャットボットによる生成AIレコメンド機能の実装
3. 生成AIエージェント活用による飲食店、アクティビティの代理予約機能の実装と満足度向上、消費拡大の促進
4. レコメンド反応データ(レコメンドを受けた旅行者による予約等の動き)の分析結果を地域事業者向けに展開

目標値

KGI 飲食店、アクティビティ新規利用数(予約/現地訪問72件、144人/月)

KPI 本システムの利用人数(1,800件/月)

